

# パブリックコメント案件概要

## 案件名: 尼崎市新ごみ処理施設整備基本計画の策定について

### 1. 施策の概要

老朽化に伴い計画的な建替えが必要であるごみ処理施設について、平成30年度に基本的な整備の方向性を示す「尼崎市新ごみ処理施設整備基本構想」の策定を行った。令和元年度には、この基本構想に基づき、より具体的な計画である「尼崎市新ごみ処理施設整備基本計画」を策定する。

### 2. 施策策定(見直し)に至った背景・問題点など

これまで本市は、ごみ処理施設を効率的に運用・更新するため、ごみ減量の取組を進めてきた。その結果、焼却炉については現状のペースでごみの減少を続けることにより、令和7年度には稼働後25年の耐用年数を迎える第1工場を建替えせずに廃止し、第2工場だけで市内のごみを処理することが可能となる見込みである。一方、その第2工場も延命化に取り組んでいるものの、令和12年度には25年の耐用年数を迎えることに加え、資源ごみや大型ごみ等の破砕・選別を行っている資源リサイクルセンター、し尿処理施設等についても老朽化が進んでおり、これらを総合的に検討した結果、令和13年度を目標年度として焼却施設、リサイクル施設、し尿処理施設等の集約化及び更新を行うこととした。

### 3. 目指す姿・対応策など

新しい施設の整備にあたっての基本的な考え方を以下のとおり定めた。

- 理念1: 環境保全に配慮し地球温暖化対策に貢献する施設
- 理念2: 安全・安心・安定的な処理が確保できる施設
- 理念3: 災害廃棄物処理への対応ができる施設
- 理念4: 経済性に優れた施設

### 4. 施策の対象範囲・期間など

対象: 市民、市内事業者  
期間: 新ごみ処理施設竣工(令和13年度)まで

### 5. 市民意向調査の概要

令和元年6月3日から6月28日までの間ホームページ上で意見募集を行った。

### 6. 施策の検討経過

#### (1) 素案検討過程での主な論点

- ・焼却施設の処理方式
- ・環境保全目標
- ・施設の建設及び運営に係る事業方式

#### (2) 策定過程で比較検討した複数案の主な項目と反映理由

・焼却施設の処理方式については、「ストーカ式焼却方式」「流動床式焼却方式」「シャフト式ガス化溶融方式」「流動床式ガス化溶融方式」「ストーカ式焼却方式+メタン発酵方式」の5案を比較検討し、エネルギー回収、他都市での採用実績及び経済性等を考慮し、「ストーカ式焼却方式」を選択した。  
・新施設の環境保全目標について検討し、環境負荷、地球温暖化対策、経済性及び本市の公害の歴史等を総合的に考慮して、現施設と同等以上の基準を維持することとした。  
・事業方式については、「公設公営」「DBO方式(公設民営)」「PFI方式(民設民営)」のうち、経済性、安定性、不測の事態への対応及び市民サービスの水準向上等を考慮し、「DBO方式(公設民営)」を選択した。

### 7. 今後のスケジュール

令和元年12月25日から令和2年1月15日までの期間で尼崎市新ごみ処理施設整備基本計画(素案)に対する市民意見の募集を実施する。その後、市民意見公募手続結果を公表し、令和2年2月議会に提出する。

### 8. 添付資料

- ・尼崎市新ごみ処理施設整備基本計画(素案)
- ・尼崎市新ごみ処理施設整備基本計画(素案)の概要

### 9. お問い合わせ先

経済環境局環境部施設建設担当 〒660-0842 兵庫県尼崎市大高洲町8番地  
電話番号(TEL) 06-6409-0301、ファクス(FAX) 06-6409-1277  
メールアドレス(Eメール) ama-shisetsukensetsu@city.amagasaki.hyogo.jp